

別海高校 酪農経営科・専攻科

●【酪農経営科】中学校との連携学習

9月18日(金)と25日(金)に別海中央中学校との連携学習をおこないました。別海中央中学3年生60人を対象に、酪農経営科2・3年生の飼料作物班、資源循環班、動物バイオ班、乳製品加工班がそれぞれの会場で活動紹介をおこないました。飼料作物班は今年で4年目となる「ライ麦を活用した粗飼料の生産」をテーマに、動物バイオ班は牛の卵子や精子の検索内容などを説明しました。また、資源循環班は、家畜ふん尿を活用したバイオガス発電やメタン発酵後の消化液の利用について紹介しました。



中学生へのプレゼンテーション

本校生徒は中学生への研究内容やプロジェクト学習のプレゼンテーション技術を高め、中学生にとっても別海町の基幹産業の酪農を学ぶことでふるさとへの思いを強めることができた学びの場となりました。本校生徒たちからは、「研究活動紹介やPR活動ができて良い機会となった」といった感想が多く聞かれました。

●【酪農経営科】搾乳実習

10月7日(水)～10月16日(金)まで別海町酪農研修牧場で、今年度の搾乳実習をおこないました。2年生を対象として、酪農の基本的技術である



パーラーでの搾乳

「搾乳」について、現地実習をとおして正しい技術を学ぶことを目的に行っています。

生徒たちは、研修牧場の田中様より丁寧に搾乳の手順やミルクの取扱いについて説明を受け、実際のパーラーでの仕事の様子や手順の確認、搾乳について、職員や研修生の皆さんとの研修に熱心に取り組んでいました。酪農経営科2年生全員が2泊の実習を経験し、夜の搾乳器機や泌乳、乳房炎などに関わる学習会と合わせて、搾乳に関する知識と技術をしっかりと学ぶことができました。

●【専攻科】乳牛疾病学

9月28日(月)～30日(水)、根釧地域における疾病の知識向上や対策を理解する授業です。

【1日目】根室家畜保健衛生所の指導課長前田様より「家畜伝染病予防法規」獣医師溝口様より「根室管内で見られる主な疾病」のご講義いただき、防疫や伝染病発生時の対処について細かくご指導いただきました。



検査現場見学の様子

【2・3日目】ひがし北海道農業共済組合 根室南部事業センター課長補佐石川様より「農業災害補償制度の概要」について、ご講義いただき、午後から根室南部事業センターで、施設内や各種検査の説明をしていただきました。翌日は、DVDで手術の様子や様々な疾病についてご講義いただきました。

学生からは、「疾病要因や症状・対策方法などわかりやすく説明していただき理解できた。これからも丁寧に牛を観察して、何事も早期発見に心掛けたい。」という感想がありました。

●【専攻科】環境科学

10月2日(金)、集中授業「環境科学」でフィールドワークを実施しました。調査対象はウチダザリガニで、もともと食用として摩周湖に放流され、その後40年ほど前に人の手で川に放され増殖したものです。今回は22匹を捕獲し、体長・体重を計測後、よく茹でて試食しました。



ウチダザリガニ計測の様子

現在は特定外来生物に指定されているウチダザリガニですが、もともとは人間が勝手につれてきたもの。一見、自然が豊かにみえる地域でも生態系は様々な問題を抱えていることに学生達は気づいたようです。「生態系を壊す生物がこんなにいるとは。このままではいけない。」と語ってくれた人もいました。

●【専攻科】基礎研究活動中間発表

10月7日(水)、1年目学生による基礎研究活動中間発表会が実施されました。4月より自家牧場の経営内容の把握のため様々なデータを採取し、調査する中



発表会の様子

で牧場の現状と課題を再認識する機会となっています。1年間の研究成果を発表する発表会は来年の3月を予定しておりますので、参観を希望される場合は専攻科長:教諭 八重樫(Tel0153-75-2053)まで問い合わせ下さい。